

いーすと ういんど

推進協は、地域の皆様が協力し合い
青少年の幸せを願う組織です

東海岸小学校区青少年育成推進協議会
第84号 2024年(令和6年)3月1日発行

交通・安全部会の活動

交通・安全部会は、子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境確保のため、東小会の皆さん、駐在所の警察官、推進協の理事の皆さんの協力により、「ふくろう運動」や「安全確認パトロール」を行っています。

ふくろう運動

原則として毎月1回、通学路の横断歩道、交差点、歩道が狭い箇所など危険と思われるポイントに立ち、子どもたちの下校の見守りを行っています。



今年度は、新築マンションの工事車両の通行も多くあり、一中通りの見守りを強化しました。

安全確認パトロール

年2回(春と秋)、学区内の各丁目を数人のグループに分かれて、通学路の安全確認を行っています。春は児童の下校時間に合わせ、通学路の交通状況や住居の樹木の張り出しなど障害物がある箇所をチェックし、秋は夕刻から街路灯・防犯灯の設置状況などを確認しました。



その他

「三校引取り訓練」「安全講習会」「1年生の歩行訓練」に支援協力し、8月にはサザンオールスターズの「茅ヶ崎ライブ2023」の開催時に、子どもたちの下校見守りを行いました。

地域行事への協力

盆踊り

8月20日(海岸地区まちづから協議会)
「海岸地区盆踊り」が4年ぶりに開催され、前回は上回る2000人近くの方が参加しました。

模擬店には開始時間前から長い列ができ、東小学区推進協が担当したポップコーンも大人気で最後まで大忙しでした。



ふれあいの集い

11月12日(海岸地区社会福祉協議会)
第35回「ふれあいの集い」がうみかぜテラスで開催されました。当日の朝は天候が悪く、寒さが厳しく心配されましたが徐々に回復し、大勢の来場者がありました。今回はスタンプラリーが復活し、子どもたちはバルーンアート、折り紙、車椅子、点字など思いおもいのコーナーを回わり、景品のお菓子をもらっ

て喜んでいました。

推進協もスタッフとしての活動を通して、地域の皆さんとふれあい楽しい交流ができました。



梅まつり

2月11日(海岸地区まちづから協議会)
海岸地区・茅ヶ崎南地区まちづから協議会共催の「梅まつり」が高砂緑地で開催され、東小学区推進協は豚汁とポップコーンを担当しました。

松籟庵のお庭では、紅白の梅が良い香りを漂わせ、訪れた皆さんに「梅まつり」を楽しんでいただけたことと思います。



夏まつり

8月6日、推進協の「夏まつり」が、地域の皆さん、第一中学校の生徒の皆さんのご協力のもと3年ぶりに開催できました。会場の東海岸小学校の校庭や体育館は、たくさん子どもたちであふれていました。

校庭では、模擬店に長い列ができ、水てっぽうで涼を感じ、ビーサン飛ばしで頑張っていました。

体育館での第一部は、竹とんぼやストロー飛行機を真剣に作って楽しそうに飛ばし、ボウリングと輪投げでは慎重に的をねらっていました。第二部の「カ オハナ フラ オ カ マルラニ」さんのフラダンスでは、優雅で楽しいひとときを感じ、「菱沼祭囃子保存会」さんの勇壮な太鼓とコミカルな御神楽に茅ヶ崎の歴史を感じました。

コロナ禍が落ち着き、子どもたちの歓声と楽しそうな笑顔を見ることができホッとしました。



大空に舞う凧に歓喜！



体育館

- ・竹とんぼ
- ・ストロー飛行機
- ・ボウリング
- ・輪投げ
- ・フラダンス
- ・太鼓



オジサン狙っちゃえ



エイッ 飛んでけ！



東小学区推進協 2大イベント



模擬店

- ・フランクフルト
- ・ポップコーン
- ・かき氷
- ・飲み物
- ・駄菓子屋さん

校庭

- ・ビーサン飛ばし
- ・水てっぽう
- ・ヨーヨー釣り

「夏まつり」の参加者から

- 大きいパイロンやフラフープの輪投げは面白かった。
- ボランティアの人たちが親切に教えてくれた。
- 子どもたちが周りに気兼ねなく普段出さないような大きな声を出しているのが頼もしく感じた。
- あれダメこれダメと制約されずに笑顔で遊び回る子どもたちにとって素晴らしい機会です。



入れっ！



何を作ろうかなあ



1月14日の寒い朝、「お正月遊びの会」を開催しました。

当日、児童117名、未就学児40名、保護者99名の参加がありました。

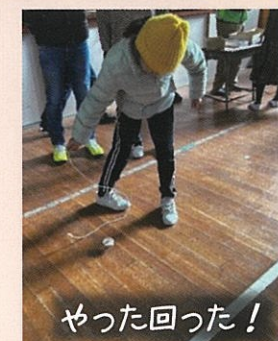
凧作りは、スタッフに手伝ってもらいながら、1時間ほどで作り上げることができました。海岸へ行き、凧を揚げると、南風に乗って凧は大空に舞い上がり、声を出して喜んでいました。

凧揚げのあと体育館に戻り、お汁粉を美味しく食べ、何度もお代わりする子どもたちもいました。お汁粉を食べたあと、羽根つき、コマ回し、かるた取り、福笑いなど、昔ながらのお正月遊びを楽しみました。子どもたちはスタッフからコマ回しの糸の巻き方・投げ方などを教わり、回ったことに満足げな顔をしていました。

第一中学校ボランティア16名、東小会、地域スポーツ団体など多くのスタッフのご協力により楽しい「お正月遊びの会」ができました。

「お正月遊びの会」の参加者から

- 80mの糸が全部出るほど凧が良く揚がり楽しかった。
- お汁粉が美味しくて3杯半食べた。
- 家でもコマ回しをするけど、コマが壁にぶつかりお母さんに叱られる。ここでは思いっきりコマを回せるから嬉しい。
- ハサミの使い方やテープを貼るところ、つまようじを付けるのが難しかった。
- 教え方は分かりやすく中学生のお兄さんが優しく教えてくれた。



やった回った！



お正月遊びの会



まだかなあ～



可愛いフラガールたち



サマースペース海岸

学校が長期間休みとなる夏休みは、保護者が仕事などから帰宅するまで子どもだけで過ごさなければならない家庭があり、安心して子どもを預けることができる場所がなく困っていることが、今年のネットワーク会議（コーディネーター配置事業）で報告されました。

このような要望に応え子育て世代を支援するため、海岸地区民生委員児童委員協議会、海岸地区社会福祉協議会、東海岸小学校区青少年育成推進協議会の三団体が協力し、夏休みの子どもの居場所「サマースペース海岸」を開設しました。

- ◆ 開設日：7月24日～8月30日 13時～17時
※土・日、8月11日～16日を除く
- ◆ 開設所：月曜日 ボランティアセンター海岸
火～金曜日 うみかぜテラス
- ◆ 後援：茅ヶ崎市福祉部地域福祉課、茅ヶ崎市社会福祉協議会、地域包括支援センターあい、海岸地区まちづから協議会

茅ヶ崎小学校、東海岸小学校の両校を通して参加者を募集したところ、想定を上回る33名の児童の申し込みがありましたが、申し込みした全員を受け入れることにいたしました。

「サマースペース海岸」は、子どもたちが安心して過ごせる場所であるとともに、夏休みならではの楽しい様々な体験をする場でもあるよう、工作、おやつ作り、高齢者体験、防災教室、手話講座、楽器演奏などのイベントを企画しました。

子どもたちを見守り、一緒に遊んだり、話し相手になったりする支援スタッフは、関係諸団体の皆さんのほか、高校生の皆さんにもボランティアとして協力していただきました。高校生の皆さんには、夏休みの宿題を教えてもらったり、ゲームをして遊んでもらったり、とてもよく子どもたちの面倒を見ていただき、毎日みんな楽しみに待っていました。



子どもたちは、体験講座や宿題の時間は真剣に取り組んでいましたが遊びの時間は大爆発。大きな水てっぽうで水をかけ合



い、びしょ濡れになるのも構わず元気一杯に笑顔で暴れ回っていました。一人でお留守番では体験できない楽しい夏休みの思い出になったことと思います。

今年度は初めての試みであり、他地区でも前例の無いプロジェクトであるため、スタッフの皆さんに無理のない範囲で実施しました。今回の成果と反省点を、今後の取組に向けての課題として対策検討を進め、より良い形を探ってまいります。

青少年指導員まつり

11月3日（文化の日）青少年会館で「青少年指導員まつり」を開催しました。茅ヶ崎市内の19の小学校区の青少年指導員が集まって、工作や昔遊びなど15のブースが並びました。

東小学区は、リボンの風ぐるま、ランタン飾りを作る工作のブースです。女の子や男の子もみんな熱心で、かなりマニアック。5名の指導員は休み時間も取れないくらいの人気ブースになりました。



「青少年健全育成ポスター展」も同時に開催され、第一中学校の生徒が描いた「薬物は知らない間に食べている」が来場者の関心を集めていました。

知らない間にどんどん身近なものになってきている薬物をもっと気にかけて欲しいとのことでした。今年も青少年健全育成ポスター展を開催します。是非ご覧になってください。



編集後記 子どもの笑顔と笑い声にたくさん出会った一年でした。

夏まつりのビーサン飛ばしでビーサンが遠くに飛んだ時、あまり飛ばなかった時、サマースペース海岸の水遊びでびしょ濡れになりながら遊んだ時、お正月遊びの凧づくりで一生懸命My凧を作りその力作が大空を舞った時、下校時元気に挨拶をして

くれた時、みんなとってもいい笑顔をしていました。そしてたくさんの元気をいただきました。

ようやくマスクから解放されて、子どもたちが少しずつ表情豊かな子どもらしい姿に戻ってきたのかなあ。子どもの笑顔と笑い声は安全安心な街のバロメーター。そんな思いで引き続き子どもたちを見守ってまいります。 Miki